

株主各位

第159期定時株主総会招集ご通知

拝啓 平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当社第159期定時株主総会を下記のとおり開催いたしますので、ご通知申し上げます。

本株主総会の招集に際しては、株主総会参考書類等の内容である情報（電子提供措置事項）について電子提供措置をとっており、インターネット上の以下の各ウェブサイトに掲載しておりますので、いずれかのウェブサイトにアクセスのうえ、ご確認くださいませようお願い申し上げます。

【当社ウェブサイト】

議決権は、以下の3つの方法によりご行使いただくことができます。

同封の議決権行使書用紙を会場受



議決権行使コードおよびパスワードを入力することなく議決権行使ウェブサイトログインすることができます。

議決権行使書用紙右下に記載のQRコードを読み取ってください。

以降は画面の案内に従って賛否をご入力ください。

第1号議案 取締役7名選任の件

ご参考



取締役候補者
とした理由

栗栖利蔵氏は、当社子会社であるヤマトフィナンシャル㈱（現ヤマト運輸㈱）の代表取締役社長、ヤマト運輸㈱の代表取締役社長および当社執行役員、常務執行役員、副社長執行役員を歴任し、グループの経営をリードしてきた経験と実績を有しております。

1979年 4月 東京エレクトロン㈱入社
2002年 4月

再任

社外

独立役員



1986年 4月 弁護士および公認会計士登録
1992年 7月 松田法律歯範 専任右藤

- (注) 1. 各候補者と当社との間に特別の利害関係はありません。
2. 社外監査役候補者に関する事項は、以下のとおりであります。

(1) 独立役員について

当社は、松田隆次氏を㈱東京証券取引所の定めに基づく独立役員として指定し、同取引所に届け出ております。同氏の再任が承認された場合、引き続き社外監査役候補者として推薦いたします。



ヤマトグループは、グループ企業理念に基づき、法と社会的規範に則った事業活動を展開するとともに、コンプライアンス経営を推進しています。また、グループにおける経営資源を有効活用し企業価値の最大化を図ることを経営上の最重要課題の一つとして位置付け、コーポレート・ガバナンスの取組みとして経営体制の強化に向けた施策を実践しています。

当社は、監査役会設置会社を選択し、取締役会が経営の重要な意思決定および業務執行の監督を行うとと

(1) 事業の経過および成果

セグメント別の概況

リテール部門

大な顧客基盤を活かしつつ、オートモーティブやハイテク産業など、ヤマトグループが強みを発揮して

つのビジョン「つなぐ、未来を届ける、グリーン物流」共創による、フェアで、「誰一人取り残さない」社会の実現への貢献」に基づき、特定した各重要課題(マテリアリティ)に対する取組みを強化していきます。環境の領域については、「2050年温室効果ガス(GHG)排出実質ゼロ(自社排出)」および「2030年温室効果ガス(GHG)排出量48%削減(2021年3月期比)」の実現に向け、引き続き「EV23,500台の導入」「太陽光発電設備810基の導入」「再生可能エネルギー由来電力の使用率向上」などの施策を推進するとともに、サプライチェーン(Scope3)排出量の把握方法の策定などに取り組みます。また、社会の領域については、引き続き、人材の多様性を尊重し、社員が活躍できる職場環境を整備するとともに、社会の諸課題に向き合い、ビジネスパートナーとの定期的な協議の実施や課題の早期発見と解消のための体制・プロセス・仕組みの整備など、適切な関係構築を通じたサステナブル・サプライチェーンの構築を推進していきます。

コーポレート・ガバナンスの強化については、引き続き、経営の監督と執行の分離、経営の透明性の維持・強化などに取り組むとともに、株主・投資家との弘に 準イ ト溪野堰寇鳥 蜿翠 蒼居 蟲圭 , 繼 閨 構築 については



区 分	2020年度 第156期	2021年度 第157期	2022年度 第158期	2023年度 (当期) (0)

当期中に実施した設備投資

当期中において実施いたしました設備投資の総額は567億80百万円で、その主なものは次のとおりであります。



(1) 発行可能株式総数	1,787,541,000株
(2) 発行済株式の総数	360,496,492株

(1) 取締役および監査役に関する事項



(4)取締役および監査役に支払った報酬等の額

当期に支払った報酬等の総額等

役一 勿ユ勿も 文蔓 子勿ユ					額
	も 廷 夸の				

これらの結果を基に算出した業績連動報酬の年額を月額に換算し、2023年7月から2024年6月までの期間適用しております。

<業績連動報酬算定式>

役員報酬等の内容の決定に関する方針等

その他

金銭報酬における一定割合について役員持株会を通じて自社株式取得に充当するものとしています。なお、客観的で透明性の高いプロセスを実現するため、2023年度における当社の取締役の個人別の報酬等の決定プロセスにおける指名報酬委員会の活動として、2023年度においては、指名報酬委員会を10回開催し、取締役の個人別の報酬等の決定方針に基づき、あらかじめ取締役の個人別の各報酬等の額および算定内容の審議を行い、その答申を踏まえて、取締役会にて決定しております。

(5) 社外役員に関する事項

主な活動状況

地 位	氏 名	出席状況、発言状況および 社外取締役に期待される役割に関して行った職務の概要
取 締 役	久 我 宣 之	

(1)名 称

(1)

業務を行う人員を当社およびグループ各社に配置する。

- ・ 当社は、グループ全体のリスク管理の基礎として、「リスク管理基本規程」を策定し、グループ各社においても当該基本規程に基づく「リスク管理基本規程」を策定する。
- ・ グループ各社のうち会社法上の大会社は、コンプライアンスやリスク統括を担当する部門を設置し、その責任者を配置する。当社のコンプライアンスやリスク統括を担当する部門がこれを統括し、グループ各社におけるリスクの状況を適時に把握、管理する。
- ・ 当社は、内部監査部門を設置し、当社およびグループ各社におけるリスク管理の実施状況・有効性の監査を行う。

当社およびその子会社の取締役の職務の執行が効率的に行われることを確保するための体制

- ・ 当社は、執行役員制度を導入し経営の意思決定、監篤瘖任練を確保れる各社繡決入し計況・

なお、コンプライアンス違反行為が発生した場合に備え、当社およびグループ会社の社員が直接





連結計算書類に係る会計監査報告

独立監査人の監査報告書

2024年5月9日

ヤマトホールディングス株式会社

取締役会 御中

めに経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

計算書類に係る会計監査報告

2. 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

事業報告及びその附属明細書は、法令 牛鉞鉞 品嶋観委 并 年余丁繼拖U 编录

以 上

